

NEWS

「ねじれ」再び

◆国民の意思は何処に

参院選投開票翌日のNHKの街頭インタビューを見たところ、街の声は民主党の大敗を予想外と見ているようでした。

みなさんも意外に思われるかもしれませんが、結果として民主党のほうが獲得票数が自民党より多いのです。比例代表の得票数(政党名と個人名の合計)では、民主党の1845万票に対し、自民党は1407万票にとどまります。選挙区でも獲得議席では自民党が勝利しましたが、合計得票数では民主党は2275万票で自民党の1949万票を上回っています。国民は民主党政権が続くことは容認するが、政権交代後10か月のあり様については納得できないとの意思を表明したのであり、この結果を重く受け止めなければなりません。

国民の審判の結果、政策の実現は極めて困難な状況となりました。衆議院で法案を可決しても参議院で否決されてしまう「ねじれ」の再現となったからです。ただし、同じ「ねじれ」でも自公政権時代には参議院で否決された法案を衆議院で再可決できる3分の2の議席を保有していましたが、今回は与党だけでは3分の2に足りません。自公政権時代以上に厳しい国会運営を迫られています。

しかしこの点については、衆議院の議席は民主党307、社民党7、国民新党・新党日本4で3会派を合わせると318議席となり、3分の2を越えることとなります。

今後も国民新党と社民党との関係が意味を持つことになりそうです。

◆永田町の論理を廃す

確かに、この衆参の「ねじれ」は、政府提出法案の成立を至上命題とする与党執行部の立場からは厄介な状況です。しかし、野党にして

も、「ねじれ」を乱用して無軌道な徹底抗戦を続ければ国民から見放されかねません。「ねじれ国会」に正面から向き合い、改めて国会を機能させる具体的な方法を模索しなければなりません。

二院制の議会を持つ米国やヨーロッパの国々でも、両院の多数派が違うのは不思議でもなんでもないので。両院がねじれていてもきちんと議論が行われ、国政は前に進んでいきます。政治家が国民のことを最優先に考えていれば、それはあたりまえのことなのですが、これまでの永田町の論理を踏襲するようではそのツケは国民に回ることになります。

現行制度で特に問題があるのは会期制です。現在のように国会の会期ごとに議案が廃案になってしまうと、国会運営は常に政策論争よりも日程闘争に重きが置かれるようになります。野党は審議の引き延ばしや不信任案を提出するなど、時間切れを狙った国会戦術を繰り返すこととなります。

このような状況が続けば、国会自体が次第に民意とかけ離れたものになり、政治不信を増大することになってしまいます。

会期制は実質的に廃止し、委員会における法案の逐条審査の制度を導入し、政策の中身の議論を深めることも考えられます。野党にとっては日程闘争に代わる抵抗手段となる可能性があります。

菅首相は政策課題ごとに野党に協力を求め、合意形成を探るパースナル連合を目指す考えを示しました。

一昨年には「ねじれ」状況にもかかわらず国家公務員制度改革基本法案を与野党が合意して修正、成立させた実績もあります。与野党の建設的な国会運営が求められます。(了)



まぶち会のご案内

私は「渴すれど盗泉の水を飲まず」の言葉のもと、利権ではなく信念に基づいた政治を行うため、一円たりとも企業献金を受けず、政治資金パーティーも行っておりません。私の政治活動は「まぶち会」に入会してくださった方々からの年間寄付金(個人献金)によって支えられています。

主旨にご賛同頂ける方は、お気軽に下記までご連絡ください。

まぶちすみお後援会事務所
0742(40)5531

「まぶち会」 についてのご案内

会の名称：「まぶち会」
 （政治資金管理団体に同じ）
 会費：年間寄付金（一口）10,000円
 会期：一年間（政治献金）



◆後援会「まぶち会」とは

「まぶち会」には、二つの目的があります。一つは、私を応援して下さる皆様の一つになれる場所を提供すること。もう一つは、「一円たりとも企業献金を受けない」という信念の私の政治活動を「まぶち会」に入会していただき年間寄付金（政治献金）で支えていただくことです。

私は「同じ目線」ということにこだわってきました。「まぶち会」は、後援会長を頂点とした従来の政治家のピラミッド型の後援会組織とは異なる、フラットなネットワーク型の新しい組織形態と活動を目指しています。ぜひ、皆様の入会をお待ちしております。

**入会のお申込、詳しいお問い合わせは
まぶちすみお後援会事務所**

TEL 0742 (40) 5531 までお願いいたします。

スタッフ日記

不易ホール

この10ヵ月間の民主党政権に対する国民の審判を仰ぐ選挙が終わりました。代議士は全国を遊説し、我々スタッフも地元の奈良はもとより他県の応援にも赴き、全力でこの選挙を戦い抜きました。全国的には残念な結果に終わりましたが、奈良の2議席を守れたことには少しほっとしています。

さて話は変わりますが、まぶちすみお後援会事務所が入っているビルの5Fは、選挙時は選挙事務所として、平時は多目的ホールとして使用しています。少し前の話になりますが、去る6月19日(土)、初めての試みとして、まぶちすみおが語らないセミナーを、まぶち会主催で実施しました。テーマは『時代を切り拓く一佐久間象山 その光と影』講師は元三碓神社宮司の露原氏。氏

の語る象山の生き様に、集まった約50人の聴衆は熱心にメモを取りながら聞き入っていました。

準備、告知、受付、片づけまで、事務所スタッフはほとんど関わらずに行った催しでしたが、新しい方にも何人もご来場いただき、「また来たい」と言っていたような良いイベントになりました。この不易ホールは他にも太極拳、中国語講座、手芸教室など皆さんの集いの場として広くご利用いただいています。原則まぶち会の会員で、材料費など必要経費しか受け取らないという条件をお守りいただき、営利目的活動でなければ利用は無料です。どうぞお気軽にお問い合わせください。皆様のご来場を一同心よりお待ちしております。（イケ）

週間活動報告

- 10 土 徳永エリ候補街頭演説（札幌駅）、経済団体意見交換会、藤川雅史街頭演説会（ルーシー白石前、札幌駅横紀伊国屋前）、綿奈、前川清成候補街頭演説（新大宮駅）、前川清成候補遊説、前川清成マイク取め式（西大寺北口）、上京
- 11 日 在京当番
- 12 月 スタッフミーティング、道路局レク、定例記者会見、記者懇談会
- 13 火 面談（花咲宏基議員・各首長他、熊本県知事、熊本市長、jp夏季インターン希望者）
- 14 水 レク（総合政策局、政策評価官室、住宅局）、政務三役懇談会、政策審議室打合せ
- 15 木 第4回副大臣会議、レク（総合政策局、住宅局、官房会計課、鉄道局）、面談（藤本政務官、仲野博子議員・釧路市長、リニア建設促進関係経済団体連合会・岡本充功事務所）、ウィリアム・ヘイグ英国外務大臣基調講演、レセプション
- 16 金 在京当番、政務二役懇談会、政務三役資産公開記者会見、業績・永年勤続表彰式、官房人事課決裁、総合政策局レク

衆議院
議員

馬淵澄夫

まぶちへのご意見は、e-mailで：
office@mabuti.net

国会
事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
 衆議院 第1 議員会館 437号室
 TEL 03 (3508) 7137 FAX 03(3506) 3572

奈良
事務所

まぶちすみお後援会（まぶち会）
 〒631-0036 奈良市学園北1-11-10 森田ビル6F
 TEL 0742 (40) 5531 FAX 0742 (40) 5532